

あかざわ小児科はおかげさまで6周年です

堺市のBCGワクチンは集団接種から個別接種に

堺市でBCGワクチンは集団接種だけでしたが、7月1日以降、準備の整った医療機関から個別接種が開始され、2023年1月からは個別接種だけとなります。当科では個別接種ができます。BCGの標準接種時期は、生後5か月から8か月未満です。

堺市HP『BCGワクチンの接種 更新日:2022/6/21』

日本がはじめて結核蔓延国から低蔓延国になる見通し

国	/人口10万人
米国	3
ドイツ	5.8
オーストラリア	6.9
英国	8
フランス	8.7
日本	10.1(2020年)
中国	58
韓国	59
インドネシア	312
フィリピン	554

2021年
は10未満
の見通し

結核はせきなどの飛沫に含まれる結核菌が空気中を長時間漂い、それを吸い込むことで感染します(飛沫核感染、空気感染)。国内患者の7割は65歳以上の高齢者で、近年も毎年約2,000人が結核で死亡しています。日本はずっと結核蔓延国とされてきましたが、今夏公表される2021年の統計で、初めてWHOによる低蔓延国の基準(人口10万人あたり10人未満)を満たすことが確実な情勢になっています。左表の日本

以外の数値は2019年時点のデータです。日本では1951年には698人/人口10万人まで多くなりました。その後、BCGワクチンや抗菌薬の普及、衛生環境の改善などで減少。近年は抗菌薬に対する耐性菌の問題もありましたが、保健師らによる服薬指導などの対策強化で年5%のペースで患者が減少してきていたとあります。

出典:読売新聞2022年6月23日夕刊『結核患者減 欧米並み 21年日本、初の低蔓延国に』、一部追加、改変

コロナワクチン4回目接種等について～基礎疾患のある方は申請が必要～

年齢区分等	3回目接種の完了日	発送時期
60歳以上の方	令和4年2月1日～28日	令和4年6月下旬
	令和4年3月1日～31日	令和4年7月下旬
	令和4年4月1日～30日	令和4年8月下旬

4回目接種の方へ:3回目接種の完了から5か月以上が経過した60歳以上の方には左記の日程で接種券が届きます。18歳以上60歳未満で基礎疾患のある方か、その他新型コロナウイルス感染症にかかった場合に重症化リスクが高いと医師が

認める方で4回目接種を希望される場合は、接種券の発送に申請が必要です。

当科では7月から8月初めにかけてファイザーワクチンでできます。月～土の9～10時(一部短縮あり)と金の17時を中心に募集します。①月～金の9～10時は電話でのみ受付します。②金の17時と土の分に関しては、オンライン



3・4回目用予約専用サイト

3回目接種の方へ:12歳以上の堺市在住の方の3回目接種は、2回目から5か月以上で可能です(5月25日から短縮されました)。4回目接種と同じ受付方法になります。

12歳以上の1・2回目接種希望の方へ:当科診療日の時間内にお電話か受付窓口でご相談ください。

小児ファイザーワクチン接種希望の方へ:3週間隔の特定日しか設定がありません。当科診療日の時間内にお電話(072-297-7771)か受付窓口でご相談ください。

日本脳炎ワクチン、追加接種やⅡ期も予約再開

7月11日(月)(予定)から、日本脳炎ワクチン1・2回目や定期接種期限の近い方との数のバランスを取った上で、3回目である『追加』、4回目である『Ⅱ期』の予約を再開します。多数の方がお待ちになっていると思います。在庫以上の場合には、待ち順を作らせていただきます。

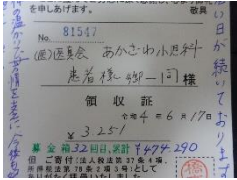
あかざわ小児科
の現在の体制

感冒症状の全くない方専用

午前診 9:00～10:30
夕方診 17:00～17:30

全く感冒症状のない方は、乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症などを指します。

募金のご報告



第32回となりました日本ライトハウスへの募金額は3,251円、累計474,290円となりました。ありがとうございました。

子宮頸がんワクチンの
キャッチアップ接種を受付中

大人の風しん第5期定期接種
の抗体検査・予防接種、受付中

7月1日から新型出生前検査の年齢制限解除

新型出生前診断(NIPT)は、お母さんの腕から採取した血液を用い、赤ちゃんのDNA断片を分析して染色体異常を調べる非確定的診断検査です。7月1日から認定施設が全都道府県に拡大し、新たな指針に基づき、35歳以上の条件がなくなります。ただ、費用が15万円以上と高額です。

読売新聞2022年6月17日朝刊『新型出生前診断 来月から拡大』、NIPT Japan HP

当科のコロナ抗原検査の陽性率

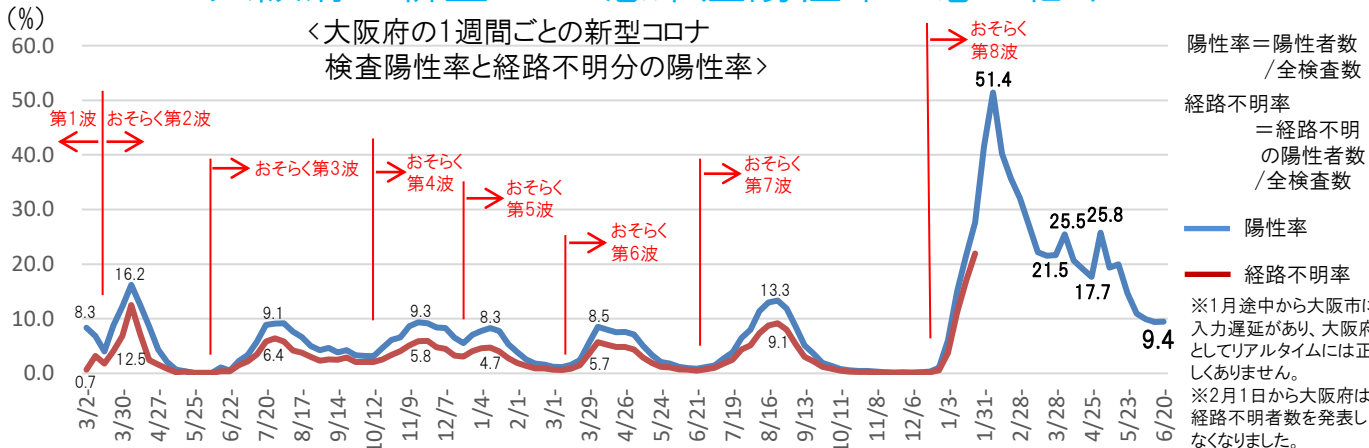
検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率
2/2~5	10	3	30%
2/7~12	21	10	56%
2/14~19	11	4	36%
2/21~26	5	3	60%
2/28~3/5	21	13	64%
3/7~12	14	4	41%
3/14~19	14	6	50%
3/21~26	13	6	50%
3/28~4/2	10	0	0%
4/4~9	9	1	11%
4/11~16	18	2	11%
4/18~23	14	3	21%
4/25~30	21	7	42%
5/2~7	9	1	11%
5/9~14	18	2	20%
5/16~21	10	1	25%
5/23~28	14	3	21%
5/30~6/4	8	0	0%
6/6~11	9	1	11%
6/13~18	3	0	0%
6/20~25	10	1	10%
計、平均	262	71	32%

当科でのコロナ抗原検査の件数と陽性者数、陽性率です。

陽性率は(陽性者数+みなし陽性者数)

/(抗原検査数+みなし陽性者数)で計算しています。最近4週間は低陽性率です。

大阪府の新型コロナ感染症陽性率は急に低下

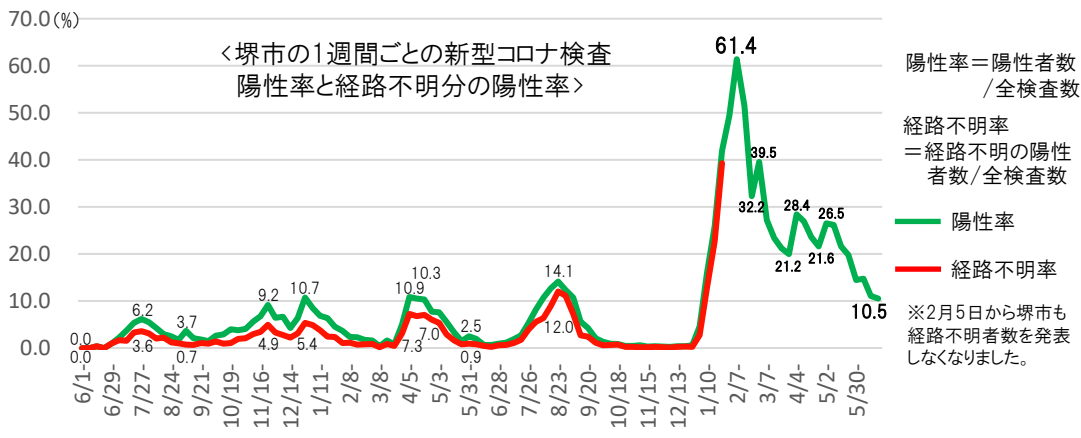


大阪府の新型コロナ検査陽性率は2月7日の週の51.4%をピークに、4・5月は20%前後でうろろしていましたが、5月下旬頃から急に低下し、6月20日から26日の週は9.4%まで低下しました。

大阪府HP『大阪府の最新感染動向 最終更新 2022/6/26』

堺市のコロナ陽性率も10.5%まで低下

堺市の陽性率は2022年2月7日の週が61.4%でピークでした。4~5月辺りは20%台で推移していましたが、6月に入って低下し、6月20~26日の週は10.5%でした。



出典：堺市危機管理室 Twitter 最終更新 2022/6/26

7月・担当医の変更

5日(火) 赤澤→片桐
16日(土) 片桐→赤澤